

題 言

空中より汝の國土を觀よ

國を擧げて不景氣のドン底にあえぐ時、我等は先づ人間整理よりも國土の整理に最も急を要するものあるを痛感する。

側面から見た國土の文化は整然たるものであつても、高處より見たる我國土は人間の數の多き割合に不整頓極まるのではないか。山を見よ、川を見よ、田野を見よ、自然が與へた偉大なるものを我等は果して適當に利用してゐるであらうか。一度雨來らば山を崩し川に溢れて水害の及ぶ處はかり知るべからざる國土ではないか。

利用すれば随分役に立つ此等莫大なる水力の爲に却つて慘害を蒙つてゐるではないか。

都市、道路、河川、港灣、鐵道等空中より見て果して國土利用の整然たるものがあるか否か、土木事業の根本は其所に多大の考慮を要する事である。

我等は國土整理の一大工事を起さんが爲に先づ鳥瞰寫眞號を呈するものである。同時に多數の先輩が此舉に對し多大の援助と指導とを與へられたる事を爰に謹んで謝するものである。

失業救済と技術家團體

今や官民一致して失業救済事業の土木工事計畫に努力するの際、果して如何なる工事を先にすべきか、所謂緊急工事として國家の大局から見て着手を待つてゐるものは枚舉に遑ない程であつて、今は其審議調査をするの時期ではない、既に幾多の名案は經驗ある技術家の胸中に成つてゐるのである。

彼の治水用の大貯水池及大堰堤の如きは如何なる方面より論究するも國家としての最も合理的な施工物である、其工事竣工後の國家の利益は莫大であると信ぜらるゝ。

政府が失業救済の土木事業に乗り出したる

機會に於て、消極的なる工事より一步を踏出して所謂國策的の大工事に積極的に猛進せん事を我が技術家團體の協力に依つて徹底せしむべきである。

失業救済工事の一變調

失業救済の爲に各種の土木工事が起される事は實に喜ぶべきである。

斯る際に注意すべき事の一はミキサーを廢して手練コンクリートの流行せんとする事である。失業救済大に可なりであるが、工事の合理的施工を忘れては根本に於て國家の不經濟を生ずるのみならず、工事其物も危険至極である。

若し手練の必要を感するならば其混凝土を見て大體の強度を觀察するだけの用意を必要とする。斯くしてスランプテスト用具と強度試験體のモールドは現場用具として益々其必要を感するのである。

眞島博士の『地震と建築』

大家になると中々著述など發表出來なくなるものである。今回海軍省建築局長たる眞島健三郎博士が『地震と建築』と稱する一書を公にせられたのは實に珍しい事である。即ち眞島博士の如き實地の經驗と透徹せる學理とを踏縮めてゐる權威者が、平素の技術的所信を堂々と天下に發表せらるゝは不振極まる我技術界の爲に實に欣快にたへない。

眞島博士の所論に關しては既に土木學會及び建築學會等に於て度々發表せられ論議せられたものも大分あるが、本書は其等の改訂増補版とも見られる。而して本書は菊版二百餘頁にすぎない一冊子であるが、眞博士一流の潑刺たる行文は問題の急所を衝いて餘す處なく、讀者に強い印象を與へざれば止まないものである。

地震の熱も漸くさめて、耐震構造の研究も等閑視されんとする時に際し、一般工學及び科學方面の注意すべき名著である。